

教科	公民	科目	現代社会	講座	1年	種別	必修
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会（第一学習社）				
副教材	新編テーマ別資料現代社会（東京法令出版）						
授業形態	講義						
科目の 目 標	現代社会に興味・関心を持ち、様々な事象に対して問題意識を持って思考するとともに、自ら現代社会が抱える課題を発見し、解決するために必要な技能や表現力を身に付ける。						
身に付けて ほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代社会の事象に対して、興味・関心を持って、積極的に取り組む姿勢を養う。 2 科学的な視野に立って分析・思考・判断・表現できる資質を身に付ける。 						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 環境と私たちの生活 2 資源・エネルギー問題と私たちの生活 3 科学技術の発達と私たちの生命 4 高度情報社会と私たちの生活 5 青年期と自己の形成 6 個人の尊重と法の支配 7 現代の民主政治と政治参加の意義 <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 国際政治の動向と日本の役割 9 現代の経済社会と私たちの生活 <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 10 国際経済の動向と日本の役割 11 民主社会に生きる倫理 			<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における諸課題の現状について把握させるとともに、これらの課題は自分たちにとって身近な問題であることに気付く。 ・青年期の意義と自己形成の課題について考察させ、青年としての生き方を自覚する。 ・日本国憲法の基本原則と政治機構などを理解させ、民主政治において主体的に生きる人間としての在り方生き方を考える。 ・激動する経済社会について、様々な角度から理解を深める。 ・主権や国際政治、国際経済などの諸問題を理解させ、国際社会における日本の役割や日本人の生き方を考える。 			
評価の 観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	授業に意欲的に参加し、学習内容に対して科学的な視点をもって関心を持つことができる。	学習内容に対して科学的に思考、判断、分析し、その成果を表現できる。	必要に応じて、資料を活用して、課題を解決できる。 提示された資料から様々な情報を読み取れる。	科学的な視点に立ち、習得した知識を活用して、提示された課題や自ら発見した課題を解決することができる。			
	・授業中の態度、発言、提出物、課題への取り組み方と、定期考査により、総合的に評価を行う。						
学習の アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと教科書、資料集をよく読み、重要だと思った事項にマーカーで目印を付ける。 ・教科書をベースに自らノートを作成し、板書事項や自分が調べたことを書き加えて、自分だけのノートづくりに取り組む。 ・問題演習に取り組むことにより、思考力や判断力を養う。 ・重要事項や基本的用語を自らの言葉で表現できる練習をする。 						
その他	特になし						

教 科	公民	科目	政治・経済	講座	3年AB講座	種別	選択
単 位 数	2	教科書	高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習者）				
副 教 材	最新図説 政経（浜島書店）						
授業形態	講義、グループ活動 等						
科 目 の 目 標	現代の政治・経済に興味・関心を持ち、様々な出来事に対して問題意識を持って思考するとともに、自ら現代社会が抱える課題を発見、解決するために必要な技能や表現力を身に付ける。						
身に付けてほしい学力	1 現代社会の政治的・経済的事象に対して、興味・関心を持ち、積極的に取り組む姿勢を養う。2 科学的な視野に立って思考、分析、判断、表現できる力を身に付ける。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<p>【1学期】</p> <p>第1編 現代の政治</p> <p>第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>第2章 現代の国際政治と日本</p> <p>【2学期】</p> <p>第2編 現代の経済</p> <p>第1章 現代経済のしくみと特質</p> <p>第2章 国民経済と国際経済</p> <p>【3学期】</p> <p>第3編 現代社会の諸課題</p> <p>第1章 現代日本の諸課題</p> <p>第2章 国際社会の諸課題</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の本質や現代政治の特質について探究する。 ・日本国憲法の基本的性格と統治機構の特質について理解する。 ・政党政治や選挙などに着目して、主権者としての参政のあり方について考察する。 ・国際政治の特質や国際紛争の諸要因について探究する。 ・資本主義経済の発展経過やその特徴について理解する。 ・現代経済の特質について探究するとともに、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察する。 ・国際経済の特質を理解するとともに、国際経済における日本の役割について考察する。 ・現代日本の諸課題を追及する学習を行い、望ましい解決の在り方について考察する。 ・国際社会における日本の立場と役割について考察する。 			
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	授業に意欲的に参加し、学習内容に対して科学的な視点をもって関心を持つことができる。	学習内容に対して科学的に思考・判断・分析し、その成果を表現できる。	必要に応じて、資料を活用して、課題を解決できる。 提示された資料から様々な情報を読み取れる。	科学的な視点に立って、習得した知識を活用して、提示された課題や自ら発見した課題を解決することができる。			
	・授業中の態度、発言、提出物、課題への取り組み方と、定期考査により、総合的に評価を行う。						
学 習 の ア ド バ イ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと教科書、資料集をよく読み、重要だと思った事項にマーカーで目印を付ける。 ・教科書をベースに自らノートを作成し、板書事項や自分が調べたことを書き加えて、自分だけのノートづくりに取り組む。 ・提示された課題に対する分析結果や意見を論理的に自らの言葉で表現する小論文に取り組む。 						
その他	特になし						

教 科	公民	科目	政治・経済	講座	3年CD講座	種別	選択
単 位 数	2	教科書	高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習者）				
副 教 材	最新図説 政経（浜島書店）						
授業形態	講義、グループ活動 等						
科 目 の 目 標	現代の政治・経済に興味・関心を持ち、様々な出来事に対して問題意識を持って思考するとともに、自ら現代社会が抱える課題を発見、解決するために必要な技能や表現力を身に付ける。						
身に付けてほしい学力	1 現代社会の政治的・経済的事象に対して、興味・関心を持ち、積極的に取り組む姿勢を養う。2 科学的な視野に立って思考、分析、判断、表現できる力を身に付ける。						
学 習 計 画	単 元			学 習 の あ ら ま し			
	<p>【1学期】</p> <p>第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第2章 現代の国際政治と日本</p> <p>【2学期】</p> <p>第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第2章 国民経済と国際経済</p> <p>【3学期】</p> <p>第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の諸課題 第2章 国際社会の諸課題</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の本質や現代政治の特質について探究する。 ・日本国憲法の基本的性格と統治機構の特質について理解する。 ・政党政治や選挙などに着目して、主権者としての参政のあり方について考察する。 ・国際政治の特質や国際紛争の諸要因について探究する。 ・資本主義経済の発展経過やその特徴について理解する。 ・現代経済の特質について探究するとともに、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察する。 ・国際経済の特質を理解するとともに、国際経済における日本の役割について考察する。 ・現代日本の諸課題を追及する学習を行い、望ましい解決の在り方について考察する。 ・国際社会における日本の立場と役割について考察する。 			
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	授業に意欲的に参加し、学習内容に対して科学的な視点をもって関心を持つことができる。	学習内容に対して科学的に思考・判断・分析し、その成果を表現できる。	必要に応じて、資料を活用して、課題を解決できる。 提示された資料から様々な情報を読み取れる。	科学的な視点に立って、習得した知識を活用して、提示された課題や自ら発見した課題を解決することができる。			
	・授業中の発言や提出物、課題への取り組み方と、定期考査により、総合的に評価を行う。						
学 習 の ア ド バ イ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと教科書、資料集をよく読み、重要だと思った事項にマーカーで目印を付ける。 ・教科書をベースに自らノートを作成し、板書事項や自分が調べたことを書き加えて、自分だけのノートづくりに取り組む。 ・提示された課題に対する分析結果や意見を論理的に自らの言葉で表現する小論文に取り組む。 						
その他	特になし						

